

# センサーリーモーターサイコセラピー（SP） レベルⅠトレーニング第4期生募集中

## トラウマ治療の理論と実践

～複雑性トラウマ治療の分野で高く評価される実践的なアプローチ～

臨床の現場でトラウマを抱える方々と向き合う中で、私たちはしばしば、言葉では語りきれない身体的・情動的な反応に出会います。こうした反応に寄り添いながら、クライアントが再び「身体と心のつながりを取り戻す」ことを目指すアプローチ——それが、『トラウマと身体』の著者であるパット・オグデン博士によって創始されたセンサーリーモーターサイコセラピー（SP）です。

SPでは、習慣化された自律神経系の活性化や本能的な防衛反応に焦点を当て、身体に蓄積され言語化されないトラウマ記憶を安全に処理していきます。これにより、従来の対話中心の心理療法では届きにくかった、トラウマの根深い問題にアプローチすることが可能となり、クライアントの信念体系や感情、人間関係に深いレベルでの変化をもたらします。

SPは、神経系を含む身体的・情動的な「安全・安心」を重視し、クライアントとの関係性に深く響くアプローチです。トレーニングでは、こうしたSPセラピストとしての姿勢やかかわり方についても学びます。

臨床に役立つ知識・技術・態度を総合的に身に付けることができる、非常に有意義なトレーニングです。ご関心のある方は、ぜひご参加をご検討ください。

# センサリーモーターサイコセラピー（SP） レベルⅠトレーニング第4期生募集中

トラウマ治療の理論と実践  
～複雑性トラウマ治療の分野で高く評価される実践的なアプローチ～

クライアントの身体が言葉とは裏腹に固くこわばったり、震えたりするとき、セラピストはどう見立てて何をすればいいのか。言葉にならないトラウマにどう向き合えばいいのか。

『トラウマと身体』の著者、パット・オグデン博士が創り上げたセンサリーモーターサイコセラピー（SP）は、従来の対話療法では難しかった、トラウマの根深い問題にアプローチします。SPでは、習慣化された自律神経系の活性化や本能的な防衛反応を扱い、身体に蓄積され言語化されないトラウマ記憶を安全に処理することで、クライアントの信念体系や感情、人間関係に深いレベルでの変化をもたらします。

## ■■■ このトレーニングで得られること ■■■

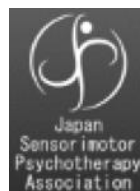
- SPの原理や基本的な概念に関する知識
- 身体の感覚と動きを通して、言語化されないトラウマに介入するスキル
- クライアントの自律神経系の活性化を読み解き、安全な状態へと導く具体的な手法
- レベルⅡ（愛着・発達過程のトラウマと人間関係の傷つき）に必要な基礎

- 【期間】 2026年5月15日(金) ～ 2027年1月31日(日)  
※授業日程の詳細は裏面をご覧ください。
- 【講師】 米国センサリーモーターサイコセラピー研究所  
公認講師 カトリーナ・カリー
- 【形態】 全オンライン（通訳付き）  
※ 終了から1年間録画視聴が可能
- 【受講料】 早割 46万円（税別）申込期間 2025年7月6日～2026年1月31日  
通常 52万円（税別）申込期間 2026年2月1日～2026年4月30日  
※ 分割クレジットカード9回払い有り



- 【お申し込み】 [www.spjapan.org](http://www.spjapan.org)  
【お問い合わせ】 [info@spjapan.org](mailto:info@spjapan.org)

詳細は、QRコードからご覧ください。  
説明動画をご覧ください。



**主催：日本センサリーモーターサイコセラピー協会（JASPA）**  
JASPAは米国センサリーモーターサイコセラピー研究所が  
提供するSPトレーニングを日本で主催する唯一の公認団体です

# 修了生の声

## 心と身体に刻まれる体験



発達や愛着などの問題を含む複雑性トラウマからの回復や癒しのために有効な心理療法だと確信しています。

パット・オグデン博士のセッションビデオを何本も観られるのがとても良い学びになります。なかなか得られない機会です。



講師のカトリーナさんの講義はとてもわかりやすかったです。質問にも本当に丁寧に答えてくださいました。特に良かったのがデモセッションです。どういう目的でどのスキルが使われたか解説しながらセッションを見せていただけて感動しました。



SPはトレーニング内容が非常に体系立っており、教材（資料やビデオなど）がしっかり用意されているので、ソマティック・サイコセラピーに初めて触れる方にとって、非常に学びやすいモダリティだと思います。



グループコンサルテーションでは、専門性の異なる7人から講師を選ぶことができ、どのグループコンサルにもオブザーバー参加できます。受講生の人数分の様々なケースコンサルに参加できるのがとても良いです！臨床現場で実際にSPをどのように使うのか？の具体的な数々のアドバイスを得ることが出来て、習ったばかりのSPを臨床で活かせるとても貴重な学びとなりました。

# 授業日程

## センサリーモーターサイコセラピー レベルI 第4期



モジュール1：2026年5月15・16・17日



モジュール2：2026年7月3・4・5日



モジュール3：2026年9月25・26・27日



モジュール4：2026年10月23・24・25日



モジュール5：2026年12月18・19・20日



モジュール6：2027年1月29・30・31日（修了日）



講義時間：8時00分～13時00分



その他充実した学習機会多数（オンライン上の質問コーナー、受講生同士の勉強・練習会であるスタディグループなど）



主催：日本センサリーモーターサイコセラピー協会（JASPA）



# Pat Ogden, Ph.D.によるSP動画公開のお知らせ

私たちが臨床の現場で出会うトラウマを抱える多くの人は  
言葉では語りきれない身体的・情動的な反応を体験しています  
そのような反応に寄り添い  
クライアントが再び「身体と心のつながりを取り戻す」ことを目指すアプローチ  
それがSPと言えます

日本センサリーモーターサイコセラピー協会  
(JASPA) 公式ホームページには、SPの創始者である  
Pat Ogden, Ph.D. による紹介動画が公開されています。

「身体が語る物語」「接近希求：つながりを求める動き」「治療的な再演」「耐性の窓」などSPの核心に触れることができる動画が8本、日本語字幕のついた大変わかりやすい内容になっています。  
ぜひご視聴ください。



JASPA公式ホームページ  
<https://www.spjapan.org/>

